

政統賃発 0528 第 1 号  
令和 3 年 5 月 28 日

公益社団法人 全日本トラック協会  
会長 坂本 克己 様

厚生労働省賃金福祉統計官



令和 3 年賃金引上げ等の実態に関する調査の実施についての  
協力依頼について

厚生労働省において実施しております賃金引上げ等の実態に関する調査につきまして、例年、特段の御配慮、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この調査は、民間企業（労働組合のない企業を含む）における賃金・賞与の改定額、改定率、賃金・賞与の改定方法、改定に至るまでの経緯等を把握することを目的として、一定の方法により選定した民間企業を調査の対象として昭和 44 年以降毎年実施しております。

本調査の結果は最低賃金決定のための中央最低賃金審議会（目安に関する小委員会）の審議で使用するほか、社会的関心も高く、労働経済白書をはじめとする賃金分析等において広く活用されており、非常に重要な役割を担った調査となっております。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策への対応等、ご多用のところ誠に恐縮ですが、その影響による賃金の実態を把握し明らかにすることもこの調査の重要な役割でございます。

つきましては、本年も別添 1「調査の内容」及び別添 2「調査票」に基づき 7 月下旬より実施いたしますので、本調査実施の趣旨を御理解いただきますとともに、貴団体傘下企業から御協力を得られますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、貴団体の広報誌等で広報文の掲載をお願いできましたら参考までに原稿を用意いたしましたので、掲載いただくなど本調査の周知に御協力くださいますよう併せてお願い申し上げます。

(照会先)

厚生労働省政策統括官付参事官付  
賃金福祉統計室賃金第二係 下山  
電話：03-5253-1111 内線 7653  
chinage@mhlw.go.jp

## 調査の内容

## (1) 調査の目的

この調査は、民間企業（労働組合のない企業を含む。）における賃金・賞与の改定額、改定率、賃金・賞与の改定方法、改定に至るまでの経緯等を把握することを目的としている。

なお、調査は昭和44年以降毎年実施しており、今回が第53回目に当たる。

## (2) 調査の範囲

調査の範囲は次のとおりである。

## ア 地域

全国

## イ 産業

日本標準産業分類（平成25年10月改定）による次の15大産業

鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）

※生活関連サービス業、娯楽業は、その他の生活関連サービス業の家事サービス業を除く。

※サービス業（他に分類されないもの）は、外国公務を除く。

## ウ 調査対象

主たる事業が上記イに掲げる産業に属する会社組織の民営企業で、製造業及び卸売業、小売業については常用労働者30人以上を雇用する企業、その他の産業については常用労働者100人以上を雇用する企業のうちから、産業、企業規模別に層化して無作為に抽出した企業

## (3) 調査事項

## ア 企業の属性

## イ 賃金の改定に関する事項

## ウ 賃金の改定事情に関する事項

## エ 賞与支給に関する事項

## オ 労働組合との交渉経過

## (4) 調査の対象期間

令和3年1月から12月までの1年間

## (5) 調査の実施時期及び方法

令和3年7月より郵送調査により実施（回収のみオンライン調査併用）

## (6) 調査機関

厚生労働省－調査対象企業

## (7) 集計方法

厚生労働省政策統括官付参事官付賃金福祉統計室において集計を行う。



統計法に基づく一般統計調査

この調査票は、統計上の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。  
また、オンライン調査票による回答も可能ですので、詳しくは「記入の手引き」をご覧ください。

# 令和3年賃金引上げ等の実態に関する調査 調査票

(所在地) (企業名)

整理  
番号

シール添付
0001 0002 0003
シール添付

◆ 左記所在地、会社名に誤りがある場合は、赤字で訂正をお願いします。

### 【記入上の注意】

- この調査は、企業を単位として依頼しておりますので、本社(本店)のほかに、支店、工場、出張所などの事業所があれば、それらも含めて回答してください。  
なお、本社(本店)以外の事業所にこの調査票が到着した場合は、お手数ですが本社(本店)の担当部署への回送をお願いします。
- 記入に当たっては、「記入の手引き」をご覧ください。
- 記入担当者欄には、調査票の記入内容について、照会させていただく場合がありますので、記入担当者の所属部課名及び氏名等の記入をお願いします。
- 各質問中に“1)~33)”がある箇所は「記入の手引き」の「IV 調査項目について」に説明があります。

不明な点については、下記にご連絡ください。

(連絡先)

厚生労働省賃金引上げ等の実態に関する調査事務局(株式会社ファーストユニオン)  
電話:0120-990-352

記入担当者	所属部課名	氏名
	電話 ( ) - (内線 )	
	E-mail	

法人番号

																			0000
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------

※ 法人番号欄には国税庁から指定された13桁の法人番号を記入してください。

問1 企業全体の常用労働者<sup>1)</sup>数(令和3年8月1日現在)、事業内容又は主たる製品名及び労働組合の有無についてお答えください。[すべての企業がお答えください。]

企業全体の常用労働者数 (雇用期間を定めず雇用されている労働者数)	(令和3年8月1日現在)			
	人	0101	労働組合の有無	あり 1
事業内容又は主たる製品名				なし 2

0102

問3 定期昇給(定昇)制度及び賃金カットについてお答えください。

(1) 定昇制度がありますか。ある場合は、管理職<sup>13)</sup>・一般職それぞれについて、今年の実施状況をお答えください。

また、定昇とベア等(ベースアップ及びベースダウン)を区別していますか。区別している場合は、今年のベア等の実施状況をお答えください。

一部の常用労働者に対してのみベアを行った・行う場合でも、ベアを行った・行うとしてください。

①管理職

定期昇給制度の有無と実施状況		
定昇制度あり <sup>14)</sup>	定昇を行った・行う	1
	定昇を行わなかった・行わない	2
	定昇を延期した	3
定昇制度なし		4

0301

定昇とベア等の区別の有無とベア等の実施状況		
定昇とベア等の区別あり	ベアを行った・行う	1
	ベアを行わなかった・行わない	2
	ベースダウンを行った・行う	3
定昇とベア等の区別なし		4

0302

②一般職

定期昇給制度の有無と実施状況		
定昇制度あり <sup>14)</sup>	定昇を行った・行う	1
	定昇を行わなかった・行わない	2
	定昇を延期した	3
定昇制度なし		4

0303

定昇とベア等の区別の有無とベア等の実施状況		
定昇とベア等の区別あり	ベアを行った・行う	1
	ベアを行わなかった・行わない	2
	ベースダウンを行った・行う	3
定昇とベア等の区別なし		4

0304

以下の(2)から問4は、令和3年1～12月の賃金の改定額が決定している(問2(2)で1又は2を選択した)企業のみがお答えください。問2(2)で3を選択した企業は問5へお進みください。

(2) 1人平均賃金の改定額、改定率のうち、定昇制度に基づく定昇額、定昇率についてお答えください。

0305 1人平均賃金の改定額のうち 1人平均定昇額<sup>15)</sup>       円

0306 1人平均賃金の改定率のうち 1人平均定昇率<sup>15)</sup>     %

(3) 賃金カット(基本給、諸手当の減額)を行いましたか。

賃金カット <sup>6)</sup> の有無		
賃金カットを	行った・行う	1
	行わなかった・行わない	2

0307

4ページの間4へ

(4) 賃金カットの対象者<sup>16)</sup>は誰ですか。管理職と一般職それぞれについて賃金カットの内容についてもお答えください。

「賃金カットの内容」については該当する番号をすべて○で囲んでください。

管理職	一部	1	賃金カットの内容	基本給の減額 <sup>17)</sup> を行った・行う	1
	全員	2		諸手当の減額 <sup>18)</sup> を行った・行う	2
	対象者なし	3			

0308      0309

一般職	一部	1	賃金カットの内容	基本給の減額 <sup>17)</sup> を行った・行う	1
	全員	2		諸手当の減額 <sup>18)</sup> を行った・行う	2
	対象者なし	3			

0310      0311

[すべての企業がお答えください。]

問6 賞与(ボーナス)の支給状況についてお答えください。

- (1) 昨年の冬(令和2年9月～令和3年2月)の賞与(ボーナス)を支給しましたか。支給した場合は支給額、月数についてもご記入ください。

昨年の冬の賞与	
支給した	1
支給していない	2

0601

昨年の冬の賞与支給額、月数をご記入ください。

(期間内に複数回支給した場合は、合計をお答えください。)

0602	1人平均賞与支給額 <sup>24)</sup>									円
0603	1人平均賞与支給月数 <sup>25)</sup>									か月

- (2) 今年の夏(令和3年3月～8月)の賞与(ボーナス)を支給しましたか。支給した又は支給する場合は支給額、月数及び、どのように決めたかについてもご記入ください。

今年の夏の賞与	
支給した又は支給する(額決定)	1
支給するが額は未定	2
支給しない	3
未定 <sup>26)</sup> である	4

0604

今年の夏の賞与支給額、月数をご記入ください。

(期間内に複数回支給した場合は、合計をお答えください。)

0605	1人平均賞与支給額									円
0606	1人平均賞与支給月数									か月

今年の夏の賞与支給額は、どのようにして決めましたか。

業績連動式 <sup>27)</sup>	1
労使交渉	2
その他 具体的に記入願います。 ( )	3

0607

労働組合のない企業は以上で記入は終わりです。ご協力ありがとうございました。

調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒をご使用のうえ、令和3年8月10日までにご提出ください。

[以下は労働組合がある企業がお答えください。]

問8 労働組合からの、昨年の冬(令和2年9月～令和3年2月)の賞与と今年の夏(令和3年3月～8月)の賞与の要求交渉についてお答えください。

(1) 昨年の冬の賞与と今年の夏の賞与のどちらか又は双方の要求交渉を行いましたか。

賞与要求交渉の有無	あり	1
	なし	2

0801

(2) 年間臨給状況<sup>33)</sup>(夏・冬の賞与(ボーナス)を交渉し、決定する方式)をお答えください。

年間臨給状況	
各期型	1
夏冬型	2
冬夏型	3
その他	4

0802

これで調査は終わりです。

(3) 昨年の冬(令和2年9月～令和3年2月)の賞与(ボーナス)について、労働組合の要求額・要求月数をご記入ください。

どちらか一方のみ要求があった場合は、要求のあった方を記入してください。

組員1人平均要求額	<input type="text"/>	千	<input type="text"/>	円
-----------	----------------------	---	----------------------	---

0803

要求月数	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	か月
------	----------------------	---	----------------------	----

0804

(4) 今年の夏(令和3年3月～8月)の賞与(ボーナス)について、労働組合の要求額・要求月数をご記入ください。

どちらか一方のみ要求があった場合は、要求のあった方を記入してください。

組員1人平均要求額	<input type="text"/>	千	<input type="text"/>	円
-----------	----------------------	---	----------------------	---

0805

要求月数	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	か月
------	----------------------	---	----------------------	----

0806

(2)で1又は4を答えた企業はこれで調査は終わりです。  
 (2)で2又は3を答えた企業は(5)にお答えください。

(5) 夏冬型及び冬夏型それぞれ1年間の賞与(ボーナス)について、労働組合の賞与要求額・要求月数をご記入ください。また、要求交渉の結果妥結した年間の妥結額、妥結月数についてもご記入ください。

額・月数のどちらか一方のみ要求及び妥結した場合は、要求及び妥結した方をご記入ください。

組員1人平均年間要求額	<input type="text"/>	千	<input type="text"/>	円
-------------	----------------------	---	----------------------	---

0807

年間要求月数	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	か月
--------	----------------------	---	----------------------	----

0808

組員1人平均年間妥結額	<input type="text"/>	千	<input type="text"/>	円
-------------	----------------------	---	----------------------	---

0809

年間要求月数	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	か月
--------	----------------------	---	----------------------	----

0810

ご協力ありがとうございました。  
 調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒をご使用のうえ、  
令和3年8月10日までにご提出ください。

別添「広報原稿」

「賃金引上げ等の実態に関する調査」にご協力ください。

## 厚生労働省

厚生労働省では、「令和3年賃金引上げ等の実態に関する調査」を実施します。

この調査は、民間企業における賃金・賞与の改定額、改定率、賃金・賞与の改定方法、改定に至るまでの経緯等を把握することを目的として、主要産業に属する会社組織の民営企業で、製造業及び卸売業、小売業については常用労働者30人以上、その他の産業については常用労働者100人以上を雇用する企業のうちから産業別及び企業規模別に選定した約3,600企業を対象とし、毎年1月から12月までの1年間の常用労働者の賃金改定状況について調査するものです。

調査の結果は最低賃金決定のための中央最低賃金審議会（目安に関する小委員会）の審議で使用するほか、社会的関心も高く、労働経済白書をはじめとする賃金分析等において広く活用されており、非常に重要な役割を担った調査となっております。

対象になった企業におかれましては、調査の趣旨、重要性をご理解いただき、何卒調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。